

第4回連続講座『いのち』を考える 講師プロフィール

日程	講師（敬称略）	プロフィール
10/4 (金)	徳永 進（とくなが すすむ） 野の花診療所院長	京都大学医学部卒業。京都、大阪の病院・診療所を経て、鳥取赤十字病院の内科医として勤務。2001年12月、鳥取市内にてホスピスケアのある19床の有床診療所「野の花診療所」を開設し、現在に至る。1992年、第1回若月賞（独自の信念で地域医療をしている人に贈られる）を受賞。著書に「死の中の笑み」（第4回講談社ノンフィクション賞受賞）、「野の花ホスピスだより」など多数。
10/11 (金)	大西 秀樹（おほにし ひでき） 埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科教授	横浜市立大学医学部卒業。藤沢病院、横浜市立大学精神科講師、神奈川県立がんセンター精神科部長、埼玉医科大学精神腫瘍科教授を経て、現在埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授。横浜市立大学客員教授、日本サイコオンコロジー学会代表理事。専門領域は精神腫瘍学、死生学。患者遺族の心のケアを行う「遺族外来」を開設。著書に「がん患者の心を救うー精神腫瘍医の現場から」、「サイコオンコロジーを学びたいあなたへ（共著）」、「女性のがん 心のケア」など。
10/18 (金)	香山 リカ（かやま りか） 精神科医、立教大学教授	東京医科大学卒業。豊富な臨床経験を生かして、現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。専門は精神病理学。NHKラジオ「香山リカのココロの美容液」でパーソナリティを務める。
10/25 (金)	坂下 裕子（さかした ひろこ） こども遺族の会「小さないのち」代表	尼崎市出身。大阪音楽大学音楽学部卒業。武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科博士後期課程修了。長女が突然の病気で亡くなったことをきっかけに、死別・悲嘆・子どものいのちにまつわるテーマに取り組んでいる。京都グリーフケア協会講師、こどものホスピスプロジェクトビリーブメントチームリーダー、J R西日本あんしん社会財団理事。著書に「小さないのちとの約束」、「天国のお友だち」など。
11/1 (金)	柏木 雄次郎（かしわざ ゆうじろう） 関西福祉科学大学教授、日本緩和医療学会理事	佐賀医科大学卒業。大阪大学医学部第三内科、大阪第二警察病院神経科、大阪大学医学部神経科精神科などに勤務後、関西労災病院心療内科・精神科部長、大阪大学医学部臨床准教授、大阪府立成人病センター心療・緩和科部長などを務め、現在関西福祉科学大学社会福祉学部臨床心理学科教授、日本緩和医療学会理事。J R西日本あんしん社会財団事業審査評価委員会委員。
11/8 (金)	入佐 明美（いりさ あけみ） ボランティア、ケースワーカー	1955年鹿児島県生まれ。姫路赤十字看護専門学校卒業後、播磨大塩病院勤務。ネパールで医療奉仕活動をする岩村昇医師と出会い、1980年より釜崎でボランティア、ケースワーカーとして働き、現在にいたる。著書に「地下足袋の詩」などがある。
11/15 (金)	葉 祥明（よう しょうめい） 絵本作家、画家、詩人	創作絵本「ぼくのべんちにしるいとり」でデビュー。1990年創作絵本「かぜとひょう」でボローニャ国際児童図書展グラフィック賞受賞。1991年、北鎌倉に葉祥明美術館、2002年に葉祥明阿蘇高原絵本美術館を開館。絵本「地雷ではなく花をください」、「イルカの星」、近著は死産・流産をしたお母さんへのメッセージ絵本「ありがとう 愛を！」など多数。
11/22 (金)	市原 美穂（いちはら みほ） 特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎理事長	熊本県立熊本女子大学卒業。宮崎市中村東に夫が開業した「いちはら医院」で、医療現場の裏方として携わる。1998年「ホームホスピス宮崎」設立に参画、2002年「特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎」の理事長に就任。2004年宮崎市に「ホームホスピスカあさんの家」を開設し、現在4軒を運営。現在は、NPO法人ホームホスピス宮崎理事長、「宮崎をホスピスに」プロジェクト代表、宮崎大学医学部非常勤講師など。
11/29 (金)	カール・ベッカー 京都大学こころの未来研究センター教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授	プリンキピア大学宗教哲学科卒業。南イリノイ大学、ハワイ大学、大阪大学、筑波大学で教鞭を執り、京都大学総合人間学部、京都大学大学院人間・環境研究科教員等を務め、現在京都大学大学院人間・環境学研究科教授、京都大学こころの未来研究センター教授。専門分野は、死生観、ターミナル・ケア、生命倫理、比較宗教文化論。著書に「愛する者の死とどう向き合うか」、「生と死のケアを考える」など多数。
12/6 (金)	高木 慶子（たかき よしこ） 上智大学特任教授、上智大学グリーフケア研究所特任所長	聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士（宗教文化）。「生と死を考える会全国協議会」会長、「兵庫・生と死を考える会」会長。援助修道会会員。十数年来、終末期にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々の心のケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講習会で活躍中。著書に「死と向き合う瞬間ーターミナル・ケアの現場から」、「大震災・生かされたいのち」、「喪失体験と悲観ー阪神淡路大震災で子どもと死別した34人の母親の言葉」など多数。